



今日は「**あ**つうの・**く**らしの・**し**あわせ」をみつめる**イ千二千**

COC DAY

日時：2019年 12月26日 (木)

13時25分 ~ 15時55分

場所：美浜キャンパス110教室



日本福祉大学全学教育センター

NIHON FUKUSHI UNIVERSITY EDUCATIONAL DEVELOPMENT CENTER

2019 年度 日本福祉大学美浜キャンパス COC デイ

テーマ「認知症の人と家族 ～認知症の人と家族に優しい地域にむけて」

1. 目 的

高齢化社会の日本にとって認知症は身近な疾患となり、令和 6 年には 65 歳以上の約 5 人に 1 人が認知症高齢者となると推定されています。認知症の人や介護する家族が住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、国もさまざまな支援を始めています。増加する認知症高齢者への対策は、これまでの「オレンジプラン」の認知症を支える側の視点だけではなく、認知症の方自身の視点が重要とされ、「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す」という考え方の基に、厚生労働省と関係府省庁によって、平成 27 年 1 月 27 日、「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン) が策定されました。

認知症は誰もがなる可能性があります。不安に感じる方もいるかもしれませんが、正しい知識や情報を持ち、適切な治療やケアを受けることで、自分らしい豊かな生活を続けることができます。例えば、家族のだれかが認知症と診断された。これから先どうなっていくのか、家族はどのように対応すればいいのか、何か手助けしてもらえる手立てはあるのか。たくさんの不安や疑問が出てきます。認知症の人の介護は、支える家族の暮らしにも大きな影響、変化を与えます。このような不安や疑問を少しでも解決するために、認知症介護の方法や家族への接し方、さらには、日本福祉大学の学生みなさん自身が、認知症を正しく学び、地域住民にひとりとして、認知症の方や家族の支え方や関わり方を学ぶことはとても大切なことです。

本年度の COC デイは、「ふくし」の視点で、多様な人々が暮らす知多半島を見つめ、各学部の専門性を活かしつつ、地域特性や課題を理解し、地域への働きかけや多分野・多職種の連携によって課題の解決策を見出すことを目的に、「認知症の人と家族 ～認知症の人と家族に優しい地域にむけて」をテーマに開催いたします。

2. 日 時 2019 年 12 月 26 日 (木) 13 時 25 分～15 時 55 分

※「知多半島のふくし」科目履修者は 13:25 (3 限)～16:35 (4 限) まで

3. 場 所 日本福祉大学美浜キャンパス 110 教室 (知多郡美浜町奥田会下前 35-6)

4. 主 催 日本福祉大学美浜キャンパス (社会福祉学部)

日本福祉大学全学教育センター

5. 参加対象者 日本福祉大学生、知多半島のふくし科目履修者 (全 7 学部)

COC デイに興味のある学生や一般市民



美浜キャンパス COC デイスケジュール

時間	プログラム	内 容
13:25	開 会 (5分) 企 画 説 明	日本福祉大学全学教育センター
13:30	基調講話 (40分)	「認知症の人と家族」 公益社団法人 認知症の人と家族の会愛知県支部 特定非営利活動法人 HEART TO HEART 尾之内 直美 さん
14:10	休憩 (5分)	
14:15	シンポジウム (80分)	「認知症の人と家族に優しい地域にむけて」 <シンポジスト> 東海市市民福祉部 後藤 文枝 さん オレンジフェスティバル実行委員会 伊藤 諭 さん 日本福祉大学社会福祉学部 2年 松原 哲央 さん 2年 柴田 竜成 さん <コメンテーター> 公益社団法人 認知症の人と家族の会愛知県支部 特定非営利活動法人 HEART TO HEART 尾之内 直美 さん <コーディネーター> 日本福祉大学社会福祉学部 斉藤 雅茂 准教授
15:55	閉 会	※知多半島のふくし科目履修者は10分の休憩をはさみ、 16:05よりレポート試験を実施する。(30分)

COC デイ について

本学は文部科学省 地（知）の拠点整備事業において、学部と全学教育センターによる地域連携教育を推進し、持続可能な「ふくし社会」を担う「ふくし・マイスター」の養成に取り組んでいます。

全学教育センターが開講する地域志向科目の「知多半島のふくし」は、「ふくし」の視点で知多半島を見つめ、各学部の専門性を活かしつつ、地域特性や課題を理解し、地域への働きかけや多分野・多職種の連携によって課題の解決策を見出すことを目的としています。

「COC デイ」は、「知多半島のふくし」の公開授業として、地域で課題解決に取り組む方を講師に迎え、学生が日々学ぶキャンパスの所在地域の現状や課題への理解を深めるとともに、地域の方にもご参加をいただく機会とします。

MEMO
